

海洋問題学習及び清掃活動ツアーの開催(蒲郡市)

小学校高学年を対象とした海洋問題学習及び清掃活動ツアーを下記の通り実施しました。

イベントタイトル	愛知の海がワヤになってまう 「クルマエビ救出大作戦in愛知」
実施期間	2025年6月28日(土)
開催場所	愛知県蒲郡市(蒲郡商工会議所～竹島水族館)
参加人数	18人(小学4年生2名、小学5年生7名、小学6年生9名)当日欠席2名 ※最終応募数75名から選考し参加決定
主催	一般社団法人 海と日本プロジェクトin愛知県
連携・協力団体	愛知県水産試験場、がまごおり地魚普及実行委員会、竹島水族館
開催概要	<p>愛知県内在住の小学4・5・6年生を対象に愛知県蒲郡市で愛知の海の豊かさや環境問題について学ぶイベント「クルマエビ救出大作戦in愛知」を開催しました。</p> <p>愛知県の県魚は「クルマエビ」。参加した子どもたちは、初めに愛知県水産試験場の堀木清貴さんから、愛知県の県魚「クルマエビ」と愛知の海で獲れる魚の種類や水揚げ量について話を聞いた後、400万尾の稚クルマエビを常滑市の海に放流する貴重な映像を視聴しました。魚をとるだけでなく、稚魚を放流することで、生産量を守る愛知県の「栽培漁業」について学びました。</p> <p>昼食は、蒲郡市の深海魚「メヒカリ」の魚醤をタレに使った冷やし中華やお寿司、深海魚のフライを食べて、食の観点からも学びを深めました。</p> <p>午後は、竹島水族館で、押しの深海魚を見つけて、魚の目線で海の環境について考えました。「魚がエサと間違えてビニールやプラスチックなどのごみを食べてしまう」「海洋ごみが深海にまで達している」「海洋酸性化で、海の水質が変わって、生物たちが苦しんでいる」など、深刻な環境問題が見えてきました。</p> <p>1日目の最後には、芸人のAMEMIYA隊長が、みんなが学んだ事を即興で歌にして披露し、海に対する思いを新たにしました。</p> <p>オリジナル体験学習イベントについて、事前にニュースリリースを、イベント後にはPRレポートを作成し、PR TIMESで配信いたしました。</p>



海洋問題学習及び清掃活動ツアー（藤前干潟）

小学校高学年を対象とした海洋問題学習及び清掃活動ツアーを下記の通り実施しました。

イベントタイトル	愛知の海がワヤになってまう 「三河湾・伊勢湾防衛大作戦in愛知」
実施期間	2025年6月29日（日）
開催場所	愛知県名古屋市港区（稲永ビジターセンター～藤前干潟）
参加人数	18人（小学4年生2名、小学5年生7名、小学6年生9名）当日欠席2名 ※最終応募数75名から選考し参加決定
主催	一般社団法人 海と日本プロジェクトin愛知県
連携・協力団体	一般社団法人日本水中技術振興会、稲永ビジターセンター、藤前干潟クリーン大作戦実行委員会、八千代エンジニアリング株式会社
開催概要	<p>愛知県内在住の小学4・5・6年生を対象に名古屋市港区の藤前干潟で愛知の海の豊かさや環境問題について学ぶイベント「三河湾・伊勢湾防衛大作戦in愛知」を開催しました。藤前干潟は国内有数の渡り鳥の中継地で、約300haの干潟に魚やカニなど多くの生物が住んでいます。参加した小学生たちは、初めに水中ドローンを使って三河湾と伊勢湾の海の中を観察し、海洋ごみの現状について学びました。海のごみが生き物にどのような影響を及ぼすのか、また、海のごみはどこから来るのか。堤防に移動して、マイクロプラスチックなどのごみを拾い集める清掃活動をした後、RIADデータを活用したごみ調査の講義を通して、未来の海に向けて自分たちで出来ることを考えました。イベントの最後には、芸人のAMEMIYAさんが、学んだ事を歌詞に込めてみんなと一緒に熱唱し、2日間のイベントを締めくくりました。</p> <p>この学習イベントの様子を伝える番組（20分尺）を2本制作し、放送。見逃し配信としてLocipo、テレビ愛知公式YouTubeにて放送終了後から12月末までテレビ愛知公式YouTubeに掲載いたしました。</p> <p>また、アウトプット動画として、AMEMIYAさんの制作した海プロオリジナルソング2曲「栽培漁業、はじめました」と「ごみ拾い、はじめました」をテレビ愛知公式YouTubeに放送終了後から12月末まで掲載いたしました。</p> <p>オリジナル体験学習イベントについて、事前にニュースリリースを、イベント後にはPRレポートを作成し、PR TIMESで配信いたしました。</p>

